



# ブリキットシステム施工要領

# INDEX

1 事前確認事項、施工注意点、必要な道具・工具	P 1
2 ブリキットシステム使用部材	P 2
3 レール施工	P 3~7
レベルの出し方、レールガイド、ベースレールの取り付け	P 3
出隅、入隅の取り付け	P 4
サッシ周りの取り付け	P 4,5
切り妻、小屋根の取り付け	P 5~7
配管周り、軒の取り付け	P 8
4 レンガ施工	P 8~9
レンガの取り付け、割り付け	P 8
レンガの加工	P 9
5 目地施工	P 10

## 事前確認事項

- ・通気胴縁が間柱上に取り付けられている事を確認する。
- ・レールガイドの幅を考慮し、出隅・入隅箇所は胴縁 (w=45mm) ではなく貫 (w=90mm) を使用する。
- ・給排水管用スリーブ、電気配線等が外部に貫通している事を確認する。レールのたわみを防止する為、その両脇に補助胴縁を取付け、レールが留まる様にする。

## レール・レールガイド施工注意点

- ・レール各種・レールガイド各種を取付けの際はステンレス製で38mm以上の長さの釘を使用する。
- ・レール各種取り付けの際は釘を胴縁に対して2本使用し千鳥に打つ。
- ・高速カッターを使用する場合には必ず手袋と防護眼鏡を着用する。
- ・レールを高速カッターで切断したあとは、バリを取る。又、サッシ等がもらい錆びを受けない様に、レールに残った鉄粉をエアで吹く。
- ・高速カッターを使用の際は火花が出るので防火性のある素材で周りを囲う。  
例) 耐火ボード、高速カッターカバー
- ・土台水切りの上に付けるスターレールは土台水切りを基準にせず必ずレーザー墨出し器で水平を確認した上で施工する。建物を一周し誤差が出たら一番高い位置に基準を合わせもう一度やり直す。
- ・電気配線、ガス管、水道管の近くに釘を打つ場合は、これらを傷付けない様配慮の上、真っ直ぐに釘を打つ。
- ・エアコン、ガス等の配管がある場合、レールの切り口で損傷させない為に10mm程あけてレールを取付ける(接触させない)。

## レンガ施工注意点

- ・レンガを表裏逆に取り付けない。
- ・パレット毎にも色むらが発生する場合があるので一つのパレット分を一か所に取付けるのではなく、壁全体に万遍なく取付ける。
- ・少し欠けのあるレンガは捨てずに加工用にとっておく。
- ・レンガ加工の際は、必ず集塵器を使用し、使用者もマスクを着用する。
- ・厚み違いのあるレンガを混ぜて使用する場合は下記の様な場所に少ない比率のレンガを入れない。  
例) t=25mmが90%、t=35mmが10%の場合 t=35mmのレンガを該当箇所には入れない。  
該当箇所: サッシ周り、軒周り等コーキングと接触する場所、また物干し受けや庇、フラワーボックス等後付けの設備でレンガの段差がでると施工ができなくなる場所。
- ・目地を入れる前に全体を見て色むら、色幅のバランスを調整する。

## 目地施工注意点

- ・施工前に足場周り、サッシ周り、その他必要な箇所の養生をする。
- ・季節、時間、レンガの種類によっても目地の乾燥速度が異なる為、都度確認する。
- ・雨天時の施工は避ける。また当日の夜強い雨が降りそうな場合や前日雨天で当日レンガが濡れているようであれば施工は避けたい方がよい。
- ・レンガに目地が付着した場合は乾いた後に除去する。

## 必要な道具・工具

### レール施工

水平器、レーザー墨だし器、コンプレッサー、釘打ち機、釘(ステンレス)、エアホース、高速カッター(305、355替刃用。ニューレジットン、金の卵等)、ハンマー、インテリアルパール、ポンチ、自由スコヤ、板金バサミ

### レンガ施工

ウインチ、レンガカッター、集塵機、水糸、(バックアップ材)

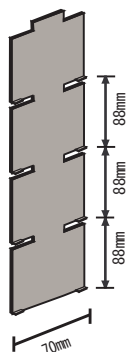
### 目地施工

ネリ樽、左官バケツ、攪拌機、柄杓、目地パック、押さえる道具、ブラシ

# ブリキットシステム使用部材

## レールガイド (3種類)

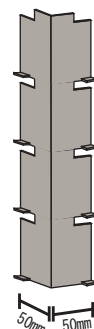
平レールガイド  
(L=1056mm, T=0.35mm)  
88mm×12段



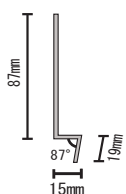
内コーナーガイド  
(L=1056mm, T=0.5mm)  
88mm×12段



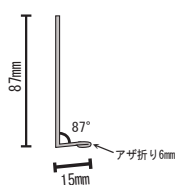
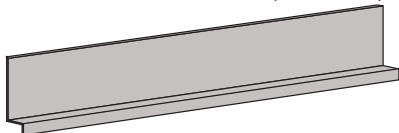
外コーナーガイド  
(L=1056mm, T=0.5mm)  
88mm×12段



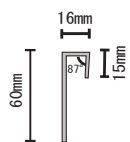
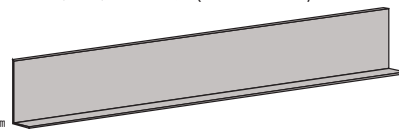
## レール (5種類)



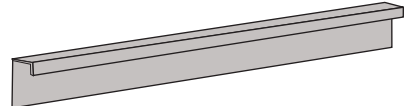
ベースレール (L=2035mm, T=0.35mm)



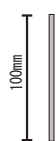
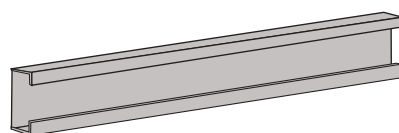
スターターレール (L=2035mm, T=0.35mm)



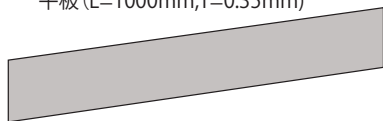
トップレール (L=2035mm, T=0.35mm)



ハングレール (L=2035mm, T=0.35mm)



平板 (L=1000mm, T=0.35mm)

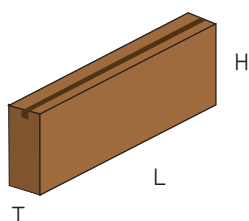


レンガ名称	サイズ (mm) L×H×T (D)
平物レンガ	230×76×25
コーナーレンガ (ショート)	190×76×25×70 (D)
コーナーレンガ (ロング)	230×76×25×110 (D)

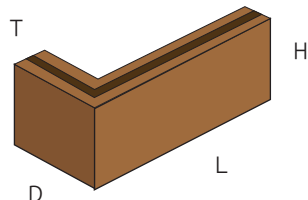
## レンガ (4種類)

※レンガは天然の土を焼成した物なので色・サイズ共にムラが発生します。

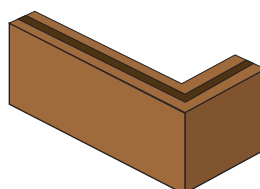
平物レンガ



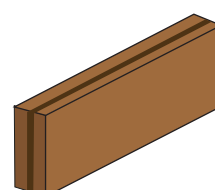
コーナーレンガ (右)



コーナーレンガ (左)

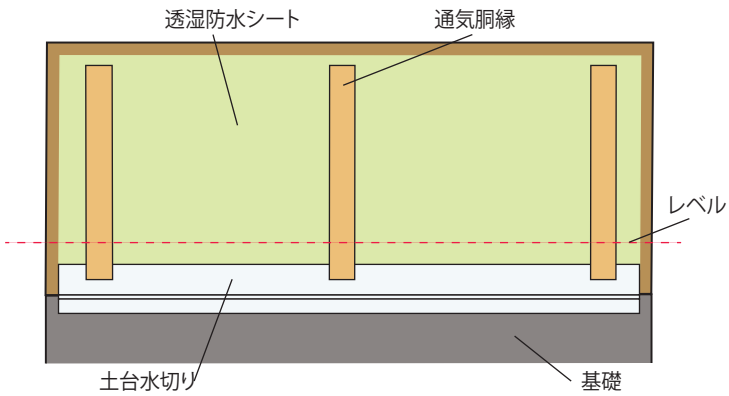


シルブリック (縦張り用)



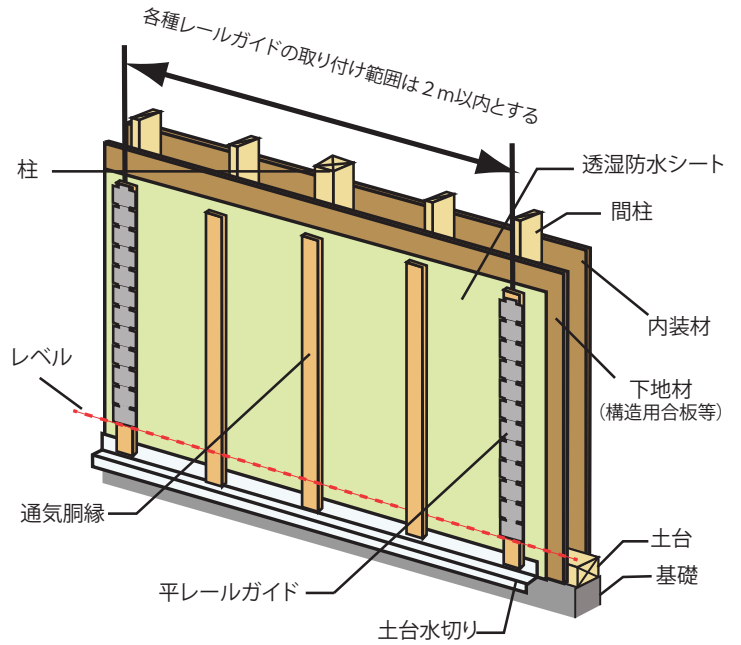
## STEP 1

レーザー等で基準となるレベルを出す。  
 ※後に付けるスターターレールの高さ(88mm)+通気用クリアランス(10mm~20mm)を考慮する事。(STEP 3 参照)



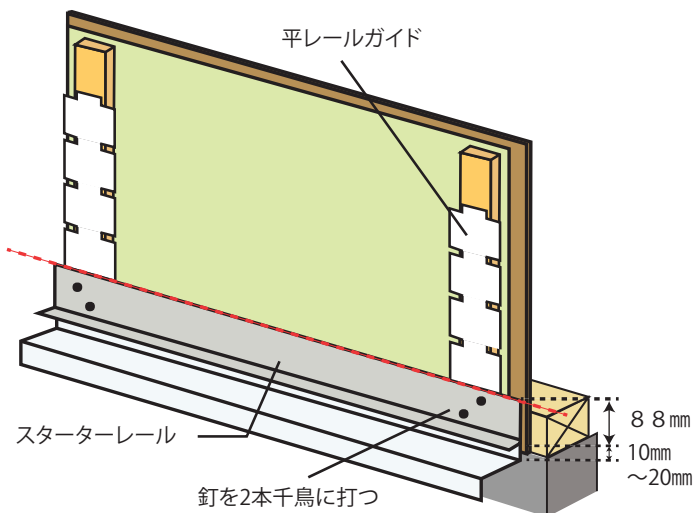
## STEP 2

レベルに各種レールガイドの下端を合わせて取付ける。  
 レールガイドの取り付け範囲は2m以内とする。  
 例) 455mmピッチの場合は1820mmがレールガイドのピッチとなる。



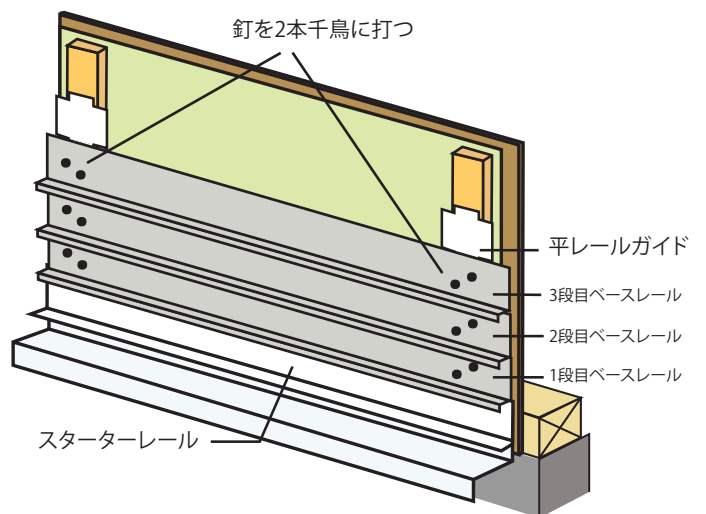
## STEP 3

各種レールガイドの下にスターターレールを釘で取付ける。



## STEP 4

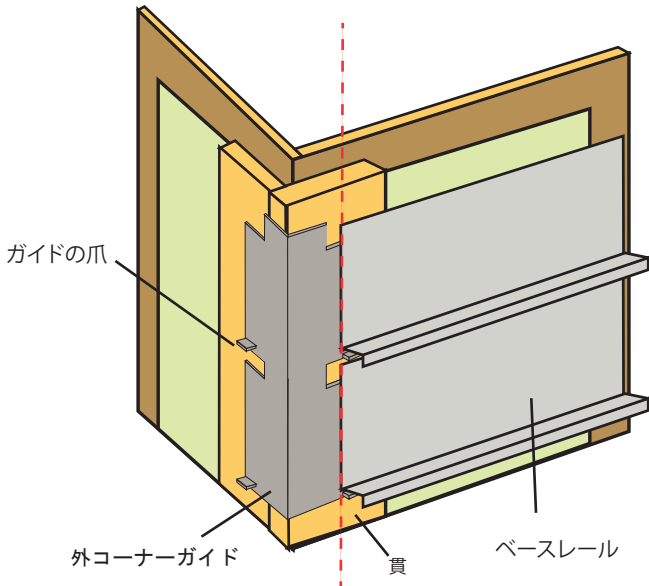
ベースレールをレールガイドの爪の上に乗せ釘で留める。  
 下の段から上にベースレールを取付ける。



### STEP 5

コーナーレンガ使用時は出隅部分のベースレールを取り付ける際、その長さを外コーナーガイドの爪部分までとする。

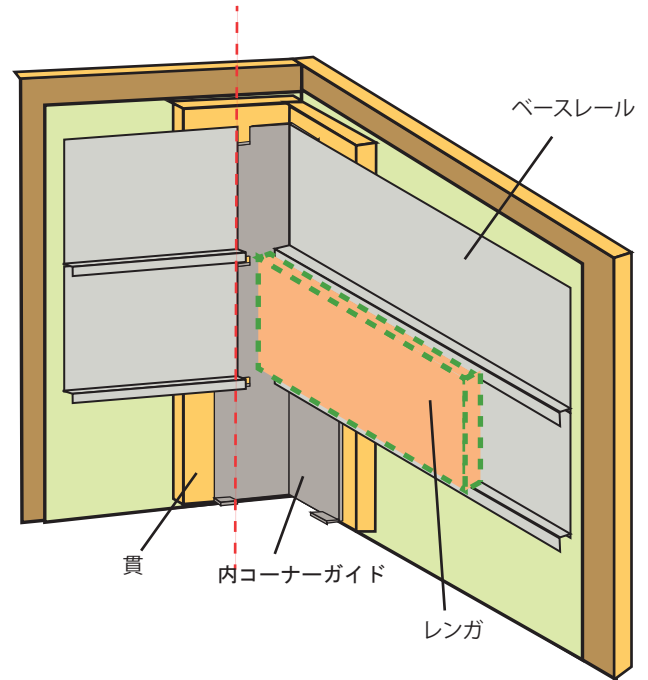
理由：出隅の角まで貼ってしまうとコーナーレンガが入らなくなる為。  
※下図の場合、点線より左には取付けない事



### STEP 6

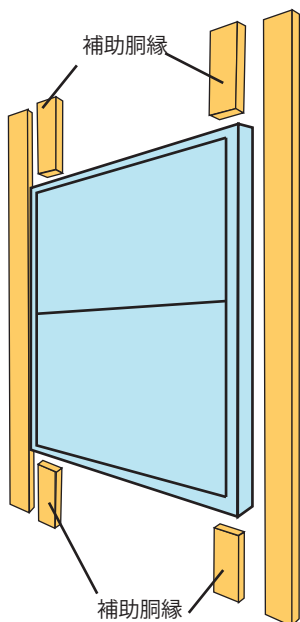
入隅はどちらかを勝ち、もう一方を負けとする。負けは内コーナーガイドの爪の位置までベースレールを取付ける (レンガの厚み+ 5 mm程度空ける)。

※下図の場合点線より右にベースレールを取付けると後にレンガが入らなくなる可能性があるので注意する。



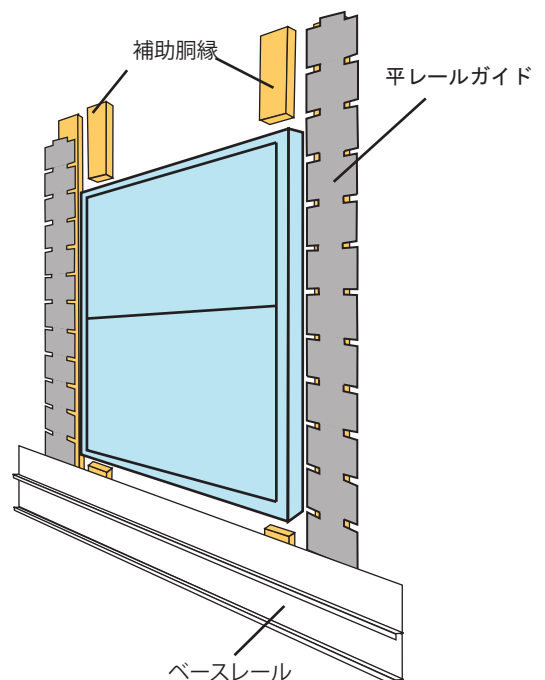
### STEP 7

後に取り付けるトップレール、スターターレールがサッシ幅の為、サッシの上下に補助胴縁を取付ける。



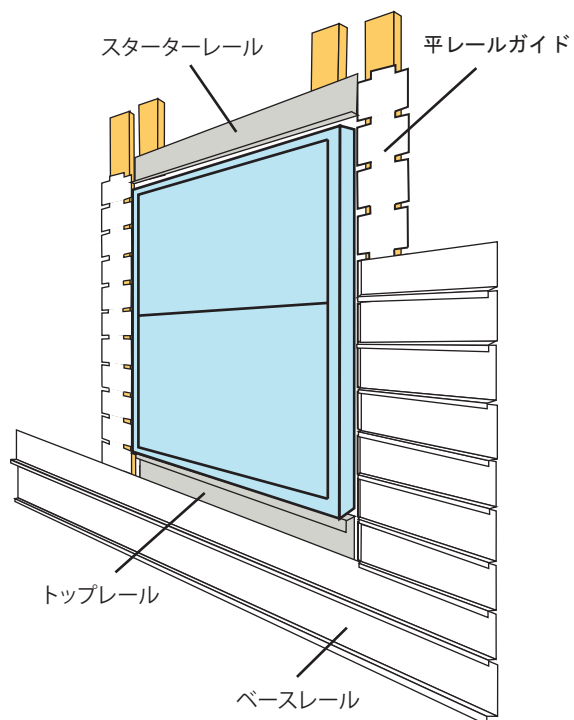
### STEP 8

サッシの両側は下から張り上げてきたベースレールに平レールガイドを乗せて取付ける。



## STEP 9

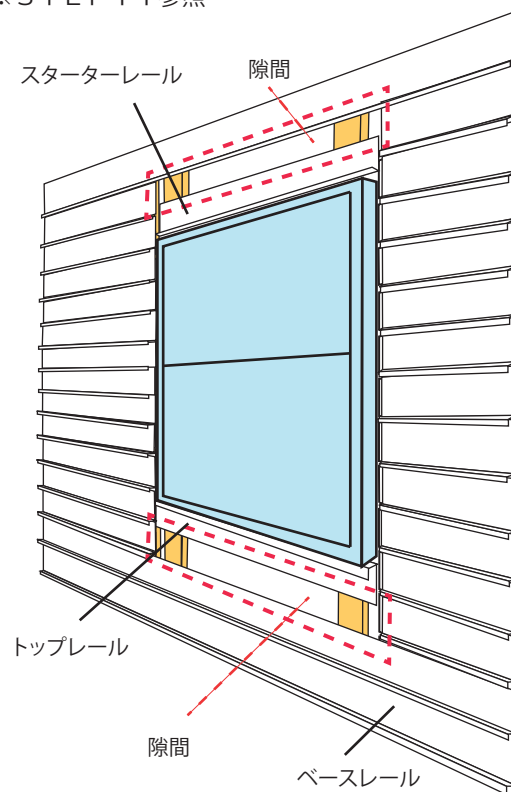
サッシ幅にスターターレールとトップレールを切る。  
サッシ上の補助胴縁にスターターレール、サッシ下の補助胴縁にトップレールを取付ける。



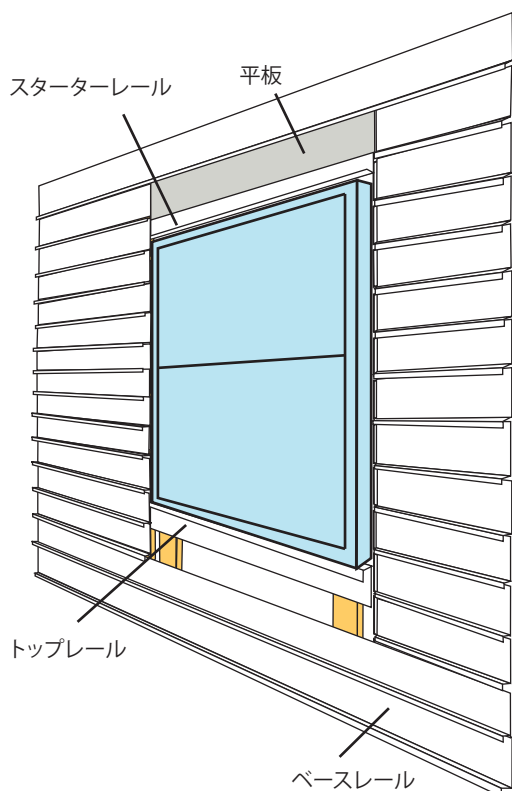
## STEP 10

サッシ上下等に長い縦レンガを使用する場合はトップレールとベースレールの間に隙間ができるので、平板を取付ける。

※STEP 11 参照

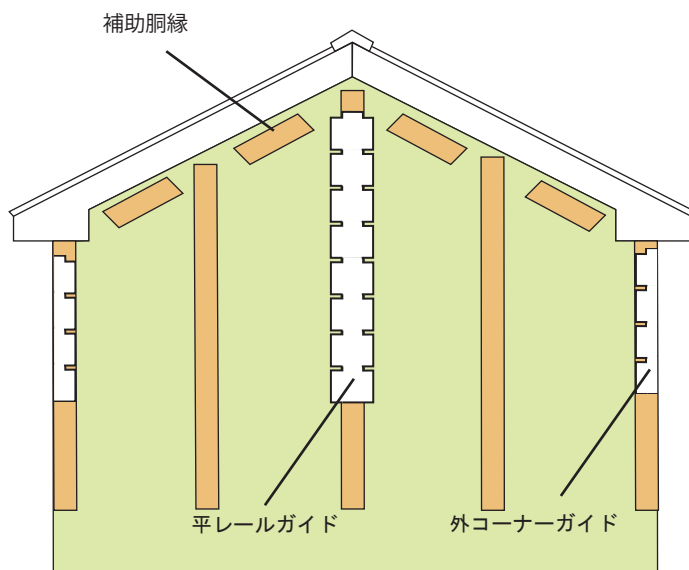


## STEP 11



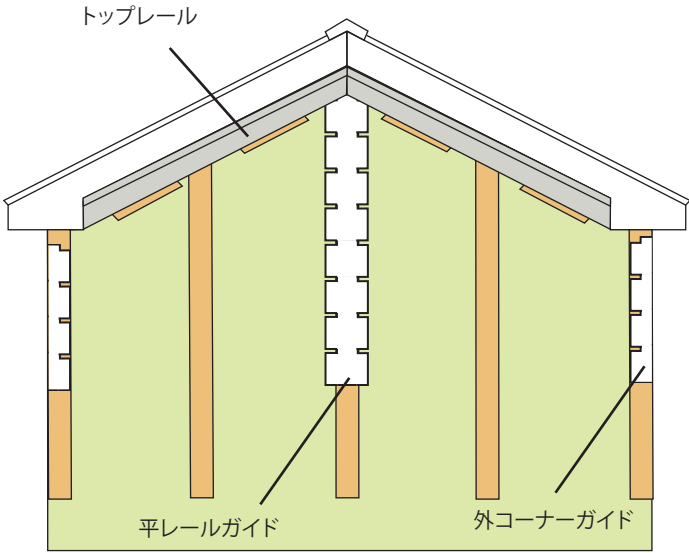
## STEP 12

切り妻部分は勾配に沿って補助胴縁を取付ける。



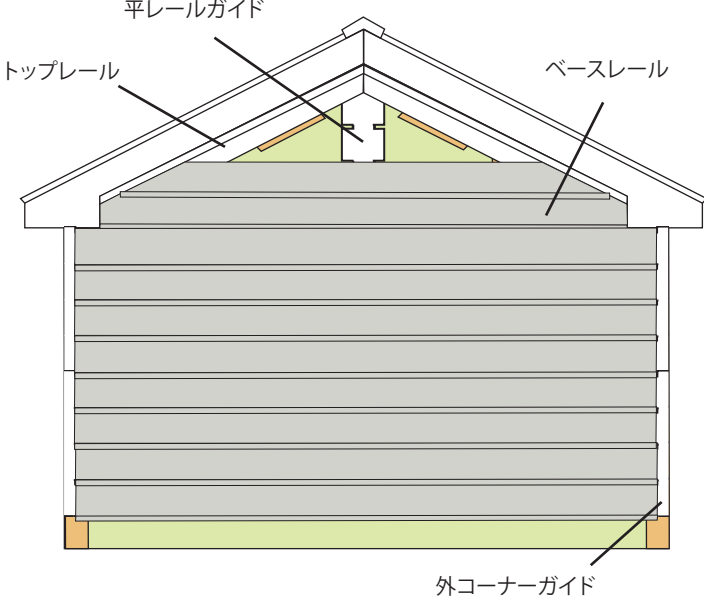
STEP 13

補助胴縁にトップレールを取付ける。



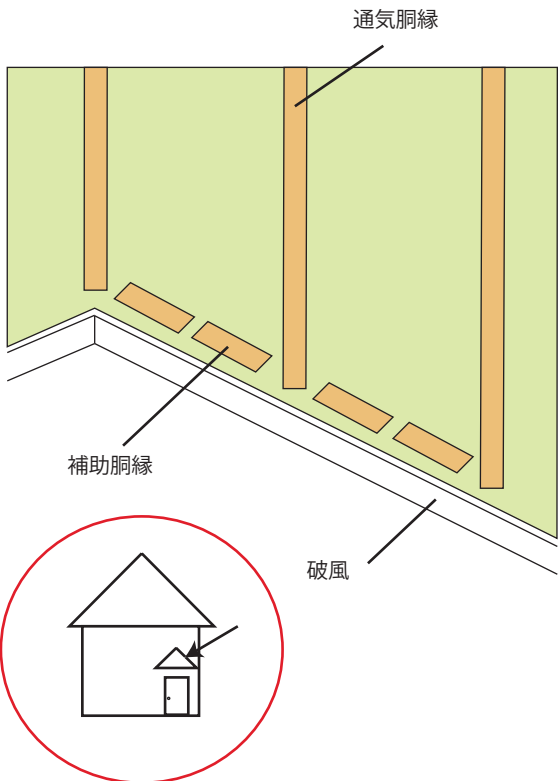
STEP 14

ベースレールを取付ける。



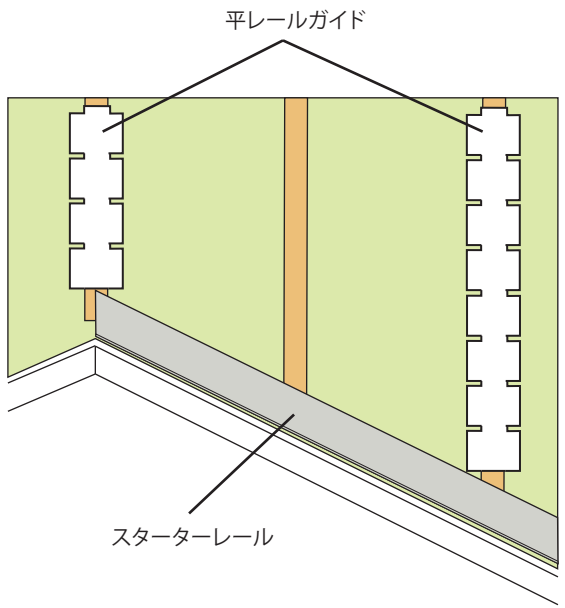
STEP 15

小屋根等、斜め勾配の部分は勾配に沿って補助胴縁を入れる。



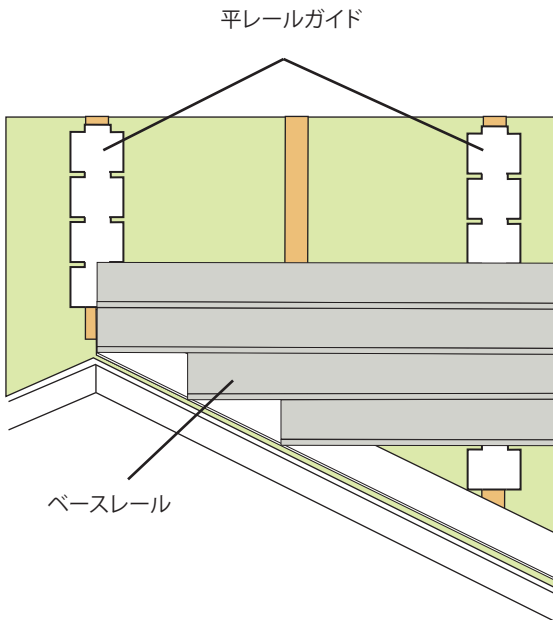
STEP 16

補助胴縁の上にスターターレールを取付ける。



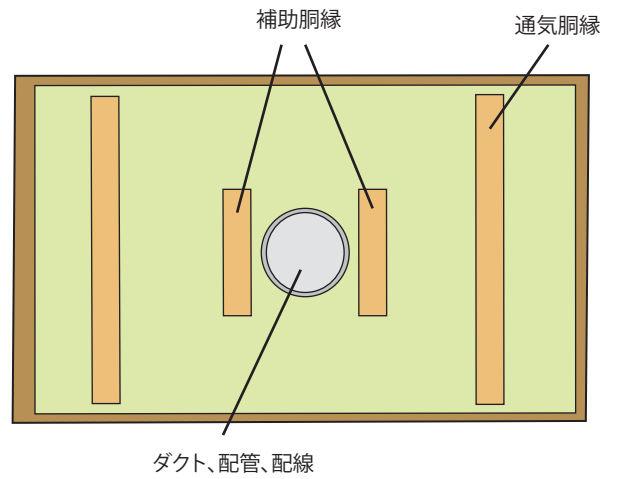
### STEP 17

ベースレールを取付ける。



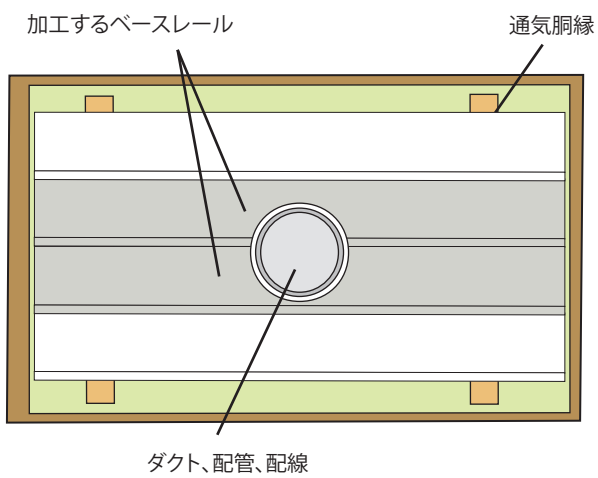
### STEP 18

配管や配線の両側に補助胴縁を取付ける。



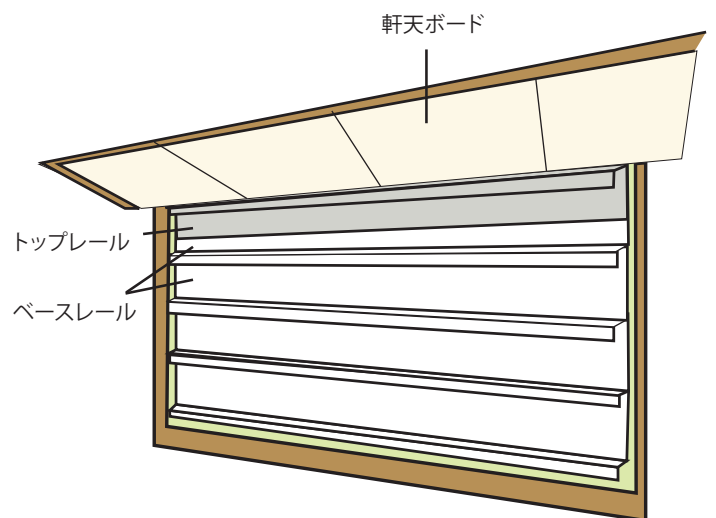
### STEP 19

金切りバサミ等を使用し配管の形状に合わせてベースレールを加工し、取付ける。



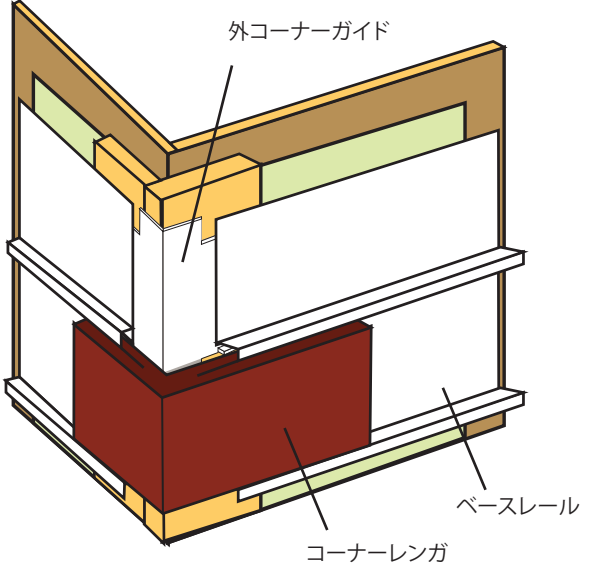
### STEP 20

軒天との納まりにはトップレールを使用する。  
ベースレールの上にトップレールを重ねて取り付ける。



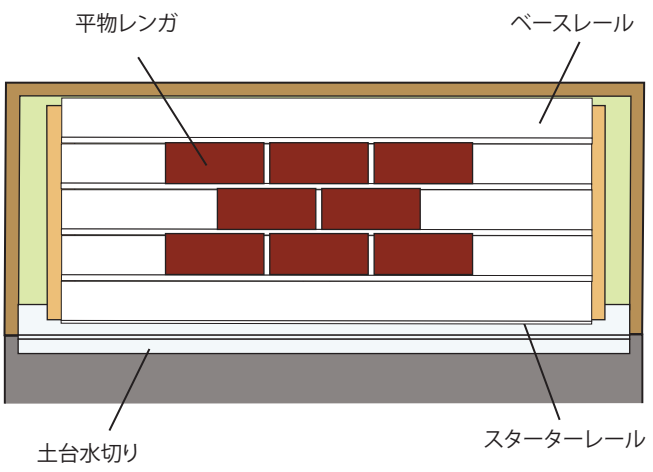
### STEP 21

コーナーレンガを建物出隅に取り付ける。



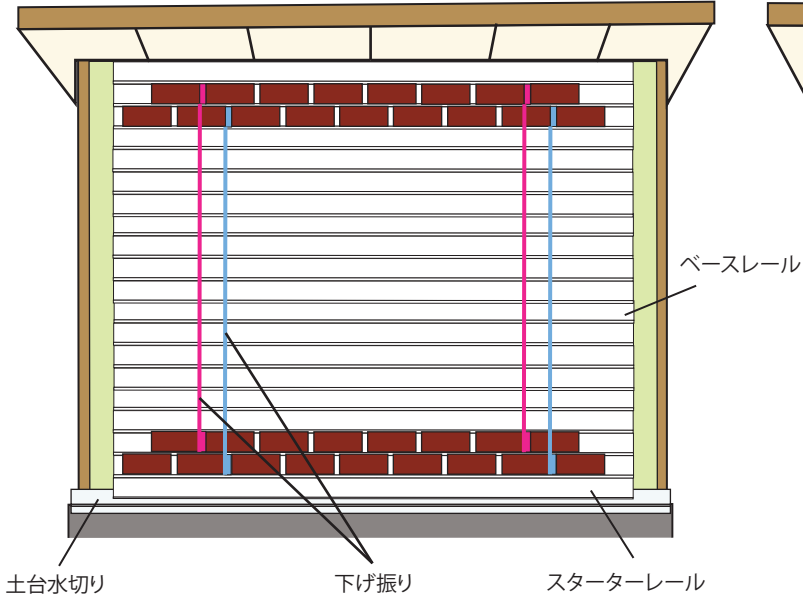
### STEP 22

平物レンガをベースレールに取り付ける。



### STEP 23

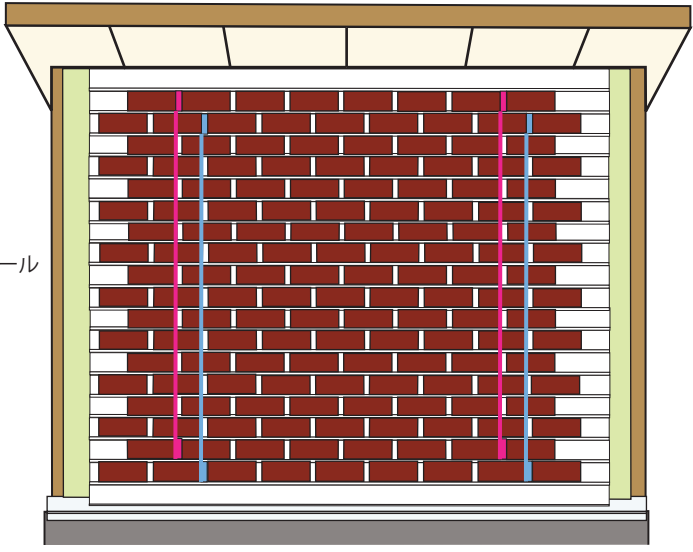
下げ振り等を使用し基準となる割り付けをする。



### STEP 24

STEP 23 で作った基準の割り付けに合わせて他のレンガを取付ける。

※推奨:縦目地部分にバックアップ材を入れると 割り付けがずれない。

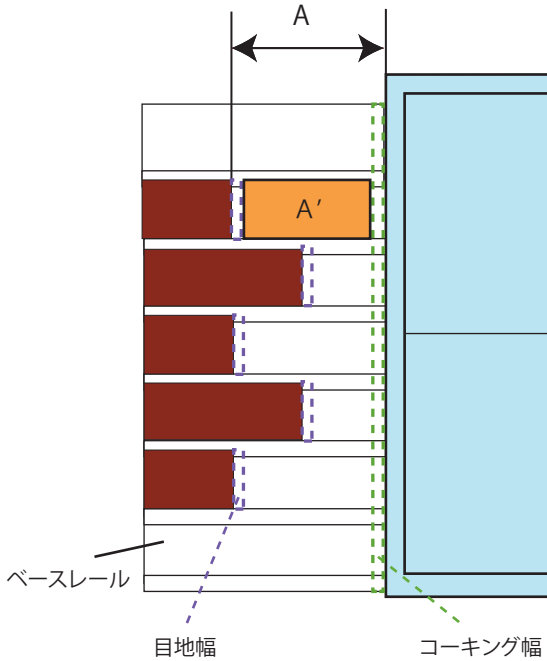


## STEP 25

サッシの左右など真物レンガが入らない箇所の寸法を取り、レンガをカットする。

採寸時、目地幅やコーキング幅を考慮する事。

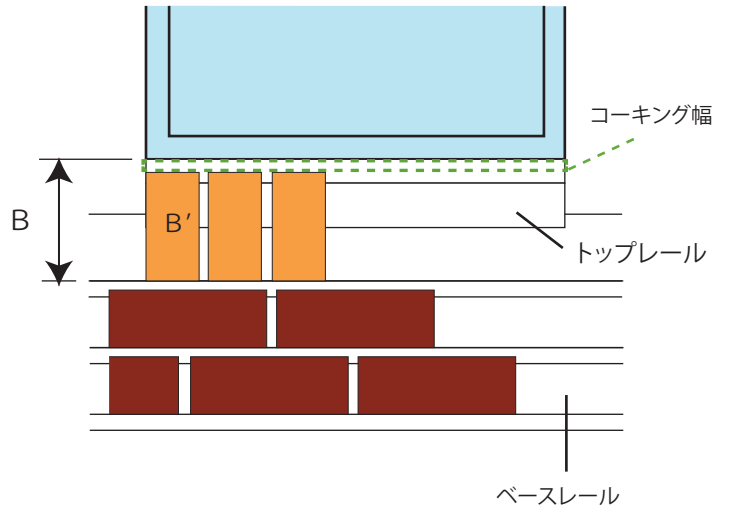
下図の場合、 $A - (\text{目地幅} + \text{コーキング幅}) = A'$ の寸法



## STEP 26

サッシ上下(下図はサッシ下・縦張りの例)はコーキング幅を考慮しレンガをカットする。

$B - \text{コーキング幅} = B'$ の寸法

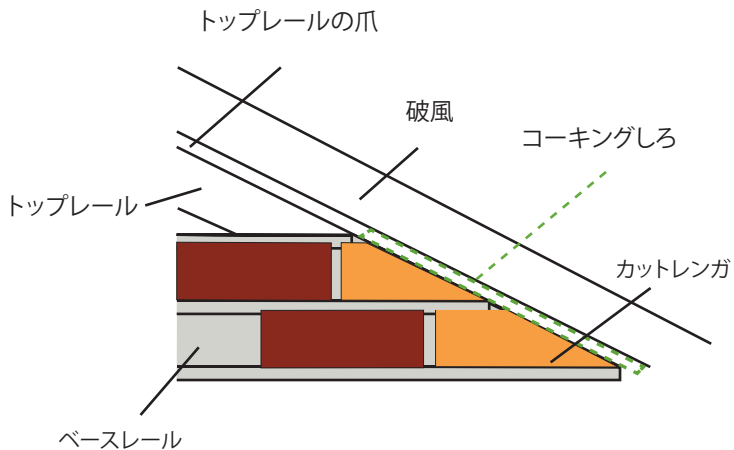


## STEP 27

切り妻等、勾配のある場所は角度に沿ってレンガをカットする。

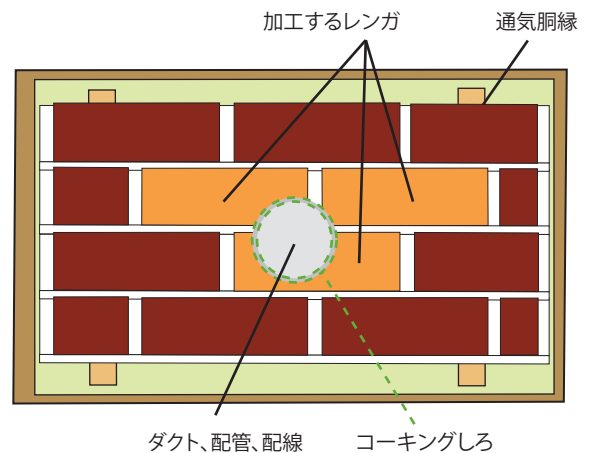
※<sup>1</sup>トップレールの爪部分はコーキングしろとなります。

※<sup>2</sup>カットレンガが小さくベースレールの爪に掛らない場合はレンガの裏に接着剤を付けて施工して下さい。



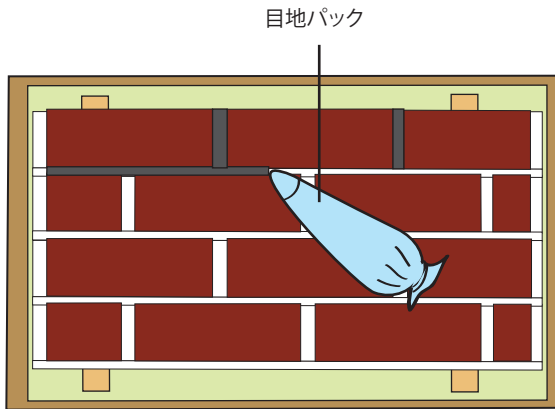
## STEP 28

配管周りのレンガもカットしコーキングしろを取る。



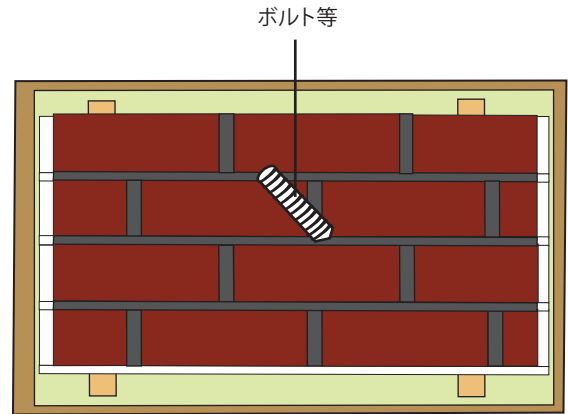
## STEP 29

目地材を練り、目地パックに入れ目地詰めを行う。  
目地パックの代わりにモルタルガンや絞り袋も可。



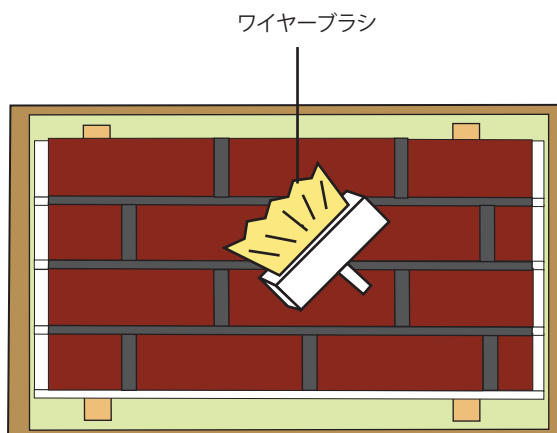
## STEP 30

目地の乾燥具合に注意し、好みの仕上げをする。  
例) 入れっぱなし、押さえ(目地ゴテ、ささら、ボルト等)。



## STEP 31

はみ出した目地材を取り除きたい場合は、ワイヤーブラシ  
で払い落とす。





有限会社ジーエム・ビルド  
(ブリック東京事業部)

〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-4-1  
アルーサ北与野ビル3F

TEL:048-789-6890 FAX:048-826-6049

HP:<https://www.gmbuild.co.jp>